

USCAR とは

沖 縄統治のための米国政府の出先機関。正式名称は**琉球列島米国民政府 (United States Civil Administration of the Ryukyu Islands)** で、単に「米民政府」「民政府」あるいは「ユースカー」(USCAR) などと称されていました。

USCARは、1950年(昭和25)12月5日に米極東軍総司令官が在琉球米軍司令官に対して発した「琉球列島米国民政府に関する指令」(いわゆるFEC指令)に基づいて、それまでの軍政府に替わって12月15日付で新たに設立されたものです。

当時、沖縄の統治は司法・立法・行政の全般にわたって、民政長官と民政副長官の指揮のもとに米国民政府を通じて行われました。東京にいた民政長官が沖縄統治の全般的責任を負っていましたが、その権限の多くは沖縄にいた民政副長官に委任して行使させていました。

1957年(昭和32)6月5日公布の「大統領行政命令」により民政長官の職は廃止され、民政副長官が高等弁務官となりました。以後、高等弁務官は沖縄の日本復帰(1972年)まで米国民政府の長としての地位にありました。

『沖縄大百科事典』下巻(沖縄タイムス社、1983年)412~413頁

USCAR文書について

USCAR文書とは、琉球列島米国民政府(USCAR)が作成または収受した資料群です。

沖縄の日本復帰時に米国に移管され、現在はワシントン郊外のメリーランド州カレッジ・パークにある米国立公文書館に保管されています。

沖縄県は1997年度(平成9)から2003年度(平成15)までの間、撮影コマ数にして約350万コマを撮影収集しました。同事業は東京の国立国会図書館との共同事業で、国立国会図書館はマイクロフィッシュ、沖縄県公文書館は**マイクロフィルム**とデジタル(一部のみ)で利用に供しています。

USCAR文書は米国への移管が始まった1969年(昭和44)時点の部局を基に16の資料群に大別できます。

2018年(平成30)現在、法務局の一部を除いて利用に供されています。



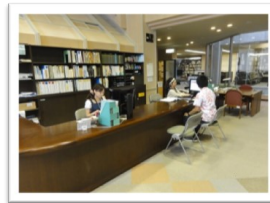
USCAR文書のマイクロフィルムには1リールあたり約**2,000コマ**の文書が入っています。

PATH FINDERとは?

パスファインダーは「道案内」を意味します。ある特定のトピック(主題)や資料群に関する情報を分かりやすくまとめたツールです。

《パスファインダー一覧》

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 飲食店マップ | 16. 立法院会議録 |
| 2. 地籍調査 関係資料 | 17. 軽便鉄道 |
| 3. 家譜 | 18. 沖縄移民 関係資料 |
| 4. 市内バス案内 | 19. 宮森小学校ジェット機墜落事故 |
| 5. 新聞資料 | 20. アーカイブズと著作権 |
| 6. 軍雇用員カード | 21. 沖縄国際海洋博覧会関係資料 |
| 7. 空中写真 | 22. 毒ガス移送 関係資料 |
| 8. 写真資料 | 23. 10・10 空襲 |
| 9. 沖縄戦 関係資料 | 24. 見学受付 |
| 10. 閲覧室へようこそ | 25. 資料検索のコツ |
| 11. はじめての公文書館 | 26. 通貨交換 |
| 12. 小・中学生の皆さまへ | |
| 13. 米国収集資料 | (令和5年4月30日現在) |
| 14. USCAR 文書 | |
| 15. 対米国民政府往復文書 | |



くわしいことは
閲覧スタッフまで♪



沖縄県公文書館 閲覧室

[9:00-17:00 休館日:月曜・祝日]

※閲覧申請の受付は16:30迄

〒901-1105

沖縄県南風原町字新川148-3

TEL :098-888-3871

FAX :098-888-3874

Email :reference@archives.pref.okinawa.jp

PATH FINDER No. 14

ユースカー USCAR文書



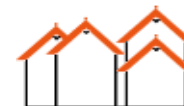
沖縄県公文書館

『琉球政府関係写真資料 151』

【資料コード:0000041439 写真番号:04245】

1958年(昭和33)頃の行政府ビル全景

(1,2階が琉球政府、3,4階がUSCAR)



沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives

USCAR文書の16シリーズ

ポイント

- ①USCAR文書には全部で16のシリーズ*があります。
- ②2018年現在、法務局の一部を除いて利用に供しています。(※シリーズとは、部局や機能別の固まり。)
- ③そのうち、公安局と法務局はデジタル化されており、ノートパソコンを持参すれば無料で複写して持ち帰ることが可能です。

シリーズ (公開年度)	コマ数
①高等弁務官室 (1999年)	21, 676
②高等弁務官に対する諮問委員会 (1999年)	7, 265
③復帰準備委員会 (米国側) (1999年)	28, 956
④民政官室・副民政官室 (1999年)	8, 178
⑤総務室 (2000年)	251, 838
⑥計画局 (2000年)	433, 876
⑦経済局 (2002年)	250, 108
⑧厚生教育局 (1999年)	286, 535
⑨労働局 (2006年)	136, 319
⑩法務局 (2016年～※)	1, 056, 026
⑪渉外局 (1999年)	273, 517
⑫広報局 (2003年)	387, 286
⑬公安局 (2008年) (※デジタル化済み)	150, 332
⑭公益事業局 (1998年)	164, 447
⑮民政官府 (宮古・八重山) (1998年)	20, 341
⑯文書の来歴に関する資料 (1998年)	8, 273
撮影コマ数合計	3, 484, 973

※ 2016年度から3年計画で公開を進めています。

USCAR文書の検索方法

ポイント

- ①検索は基本的には英語でのキーワード検索です。
- ②また、主題分類、文書形態分類で検索することも可能です。
- ③さらに、別冊のフォルダリストがあります。

①キーワード検索で (BY KEYWORDS)

検索キーワードと一致する語句が目録情報に入力されていることが条件です。さまざまなキーワードで試してみることがポイントです。USCAR文書には、日本語の資料が含まれている場合もあります。

②分類検索で (BY CODES & TYPES)

▼主題分類 (SUBJECT CODE)

各簿冊の目録情報には1簿冊につき最大3つまでの主題分類番号が入力されています。

この主題分類検索は、通常のキーワード検索とは違って、主題別に関係資料を抽出したい場合などに有効です。

例えば、SC350と検索すると、政治活動、政党に関係する簿冊を抽出できます。下の例にあるように、先頭に“SC”をつけた後に3桁の主題分類番号で検索します。

例) SC350・・・政治活動、政党
SC980・・・図書館、博物館、文化施設

▼文書形態分類 (TYPES OF RECORDS)

USCAR文書中に含まれている写真だけ、地図だけのように、特定の文書形態のみを抽出したい場合などに有効です。

下の例にあるように、先頭に“TR”をつけた後に2桁の形態分類番号で検索します。

例) TR01・・・指令、指示、法令
TR09・・・写真

(※「主題分類表」及び「文書形態分類表」は当館HPから見るができます。サイト内検索で「USCAR文書検索」と入力してください。)

③簿冊リストで (BY FOLDER LISTS)

閲覧室奥の冊子目録コーナーに配架してあります。米国国立公文書館のオリジナル「箱番号」「簿冊番号」順のリストで、資料の原秩序や全体像をつかむ場合に有効です。

詳しくはカウンター職員にお尋ねください。

非公開箇所について

◆ マスキング処理での提供

USCAR文書の中で個人情報が含まれている箇所は、沖縄県公文書館管理規則第4条に基づいてマスキング等の非公開処理が施されます。

処理は基本的にページ単位で施されていますが、中にはフォルダー単位で施されている場合もあります。マスキングが施された箇所でも、個人情報が含まれていない部分(政策方針や統計データなど)の閲覧を希望する場合、カウンターの職員に声をかけてください。当該頁を複写申請していただいた後に、最小限度(単語語句)のマスキング処理に直しした上で提供いたします。

ちょこっと裏話

◆ 原秩序とデータ表示の違い ◆

当館のデータベースでは、次の項目順に表示されます。

- ① タイトルの50音順 (またはアルファベット順)
- ② サブタイトルの50音順 (またはアルファベット順)
- ③ 作成日付順 (同一タイトルの場合)

そのために米国国立公文書館での原秩序が反映されません。この問題を解消するために、2006年度以降に公開した労働局、公安局、法務局については、タイトルの先頭に米国国立公文書館での箱番号(5桁)と簿冊番号(3桁)を付与し、原秩序が再現されるように工夫しています。

表示例) (00002-001) Labor Disputes and Strikes 1953
(00002-002) Army-Air Force Wage Survey 1953
(00002-003) Labor Relations Program Files
1952-1953

.....

USCAR広報局写真・映像について

● 写真

約10万枚現存することが確認されていますが、当館はそのうち約1万枚を収集し、ホームページの「写真が語る沖縄」で公開しています。

● 映像

約300タイトル存在することが確認されていますが、当館ではそのうち約100タイトルを収集し、ホームページでサンプル映像を公開しています。